

「万葉からの祈り サクソフーンコンサート」と 昼食会に参加して

コロナの感染状況が落ち着き街に人出が戻りつつあるこの時期、奈良県桜井市にある長谷寺の本堂で開催される「万葉からの祈り サクソフーンコンサート」（一社 まほろば芸術ラボ主催）の案内を井上知香さんからいただきました。井上さんは大阪府出身で、ロサンゼルス・フィルハーモニックでサクソフーンを担当、カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校にて音楽科の教授を務めるなど幅広く活躍されているクラシックサクソフーン奏者です。また、アメリカ大学女性協会会長もされています。

近畿圏の支部にもお知らせし、京都支部から2名、奈良支部から3名の計5名で、11月1日（月）お昼前に近鉄大阪線の長谷寺駅に降り立ちました。まずは、演奏会の前に登録有形文化財の民家でランチをいただき、食後はマスクをしてお互いに支部の話をし、ほんの少しの時間でしたが有意義な時を過ごしました。その後ぽかぽかと暖かい秋の日差しの降り注ぐなか、急な坂道と約400段の長い階段を登り長谷寺の本堂へと向かいました。会場となった本堂は国宝で、ご本尊の十一面観音さまに見守られての演奏会でした。観客は約50名、舞台の後ろと左手の開口部が開放されており、色づき始めた紅葉が自然と目に入り風情ある舞台装置になっていました。演奏された曲は10曲+アンコール1曲で、R. シューマンの「トロイメライ」や日本唱歌などなじみの曲から、演奏者の知人で80歳の女性作曲家A アルバートの「タンゴ・ソジンホ」（日本初演）まで幅広く、どの曲もそれぞれに心に響き、サクソフーンの調べを楽しみました。この1年余りコロナ禍のため、コンサートから遠ざかっていたこともあり、久しぶりの生演奏に心癒されました。

（文責：疋田洋子）

 **サクソフーンコンサート** 無料公演

Program

J.ブラケット：シンプルギフト
M.マレ：スペインのフォリア
野田療：胡蝶の舞
宮沢賢治：星めぐりの歌

R.シューマン：子供の情景よりOp.15-7「トロイメライ」へ長調
C.P.E. バッハ：無伴奏フルートのためのソナタ イ短調 WQ. 132

I. Poco adagio
II. Allegro
III. Allegro

A. アルバート：タンゴ・ソジンホ（日本初演）
岡野貞一：紅葉/もみじ
朧月夜/おぼろづきよ
故郷/ふるさと

井上知香 Chika INOUE（サクソフーン）



当日のプログラムより

びんづる尊者の前で演奏する井上さん